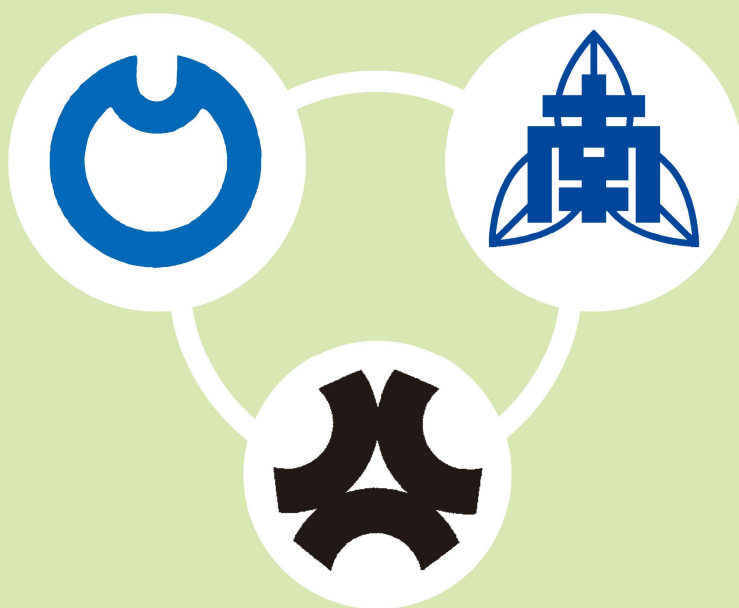


三朝町義務教育の将来像



平成29年 8月
三朝町教育委員会

町内小学校の現状

- 学校教育は、集団での学習や生活をするなかで、互いに協力し合い、切磋琢磨し、様々なルールを学び、自主性や社会性など、生涯にわたり豊かに生きる基盤を身に付ける教育の一端を担っています。
- 西小学校は国の定める学校規模の標準（12～18学級）を満たしていますが、平成31年度以降は順次単学級へ移行し標準より小さい規模（町教育委員会では小規模校と表現）となります。
- 小規模校では、きめ細やかな指導が可能となるうえに、学年を越えた交流活動が主体となり、学校全体が家庭的な雰囲気の中で教育活動が展開できる良さがあります。
- 小規模校では、豊かな人間関係の中で社会性や確かな学力などを育成する指導や教育活動の展開が不十分となっています。
- 集団の規模が小さい場合、実施できない指導や活動も多くあります。
- 南小学校の児童数の増加は見込めず、今後は1クラス1～5名で推移すると予想されます。
- 東小も増加傾向にありますが、1学年2クラスは望めない状況です。



教育ビジョン

やさしく たくましい 三朝の子どもを 育てるために

めざす
子ども像

人と郷土を愛する子ども
自主・自律の心をもつ子ども
夢と希望をもつ子ども

将来の
大人像

家庭

連携

地域

家庭、地域、保育園・学校、行政がそれぞれの役割を果たし、ともに協力

- (1) 基本的な生活習慣の育成
- (2) 社会に適応する能力の育成
- (3) 規範意識の向上
- (4) 自然への畏敬の念と豊かな情操の育成
- (5) 歴史を担い、未来を創造する力の育成

町の責任において、学校教育・社会教育の実践、子育て支援・生涯学習の条件整備

保育園・学校

行政

学校教育目標

こんな子どもを育てたい!!

やさしくたくましい三朝の子どもを育てるために

知

自ら学ぶ子ども
人や自然に学ぶ子ども
問題解決をする子ども

学校楽楽プラン

- わかる授業
基礎的・基本的な学力
- コミュニケーション
かかわり合い

徳

自分を大切にできる子ども
相手を大切にできる子ども
感動できる子ども

マナーアッププラン

- 規範意識、あいさつ
基本的な生活習慣
- 豊かな心、支え合い
仲間づくり

体

進んで心を鍛える子ども
進んで体を鍛える子ども
日々の努力を続ける子ども

バッチリズム推進プラン

- 体力向上
積極的な意欲
- 生活習慣の向上



各学校 特色プラン

- 保護者、地域
との連携
- 自然や人材の
活用と発信

変わる時代背景

～ 20年後、30年後の社会は…… ～

- 科学、経済、社会のあらゆる問題は、地球規模
- 人工知能AIを搭載したロボットが普及
- 宇宙旅行が一般化
- 定住化から目的に応じた移住化
- 都市部は労働層が集中、地方は高齢者を中心とした安住の地へ
- 教育制度の変革、現在の学校制度は存在しているかどうか…



今、求められる教育

～ 三朝町教育委員会の考え方 ～

- 変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな人間性、心身の健康・体力の知・徳・体をバランスよく育てる教育。

学校教育で子どもに付けなければならない力と態度

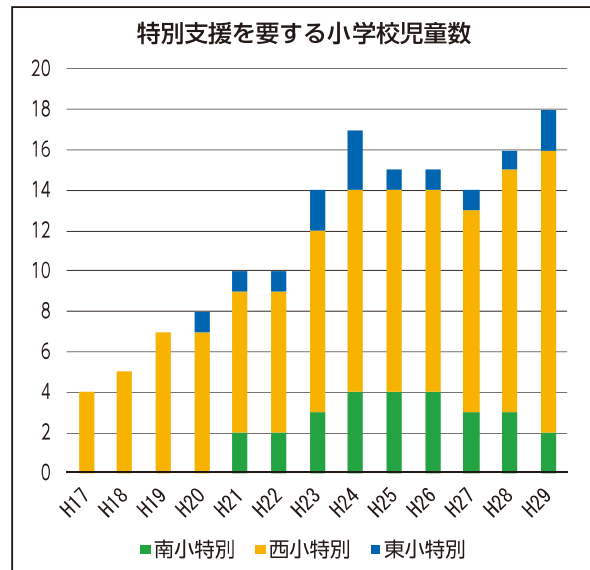
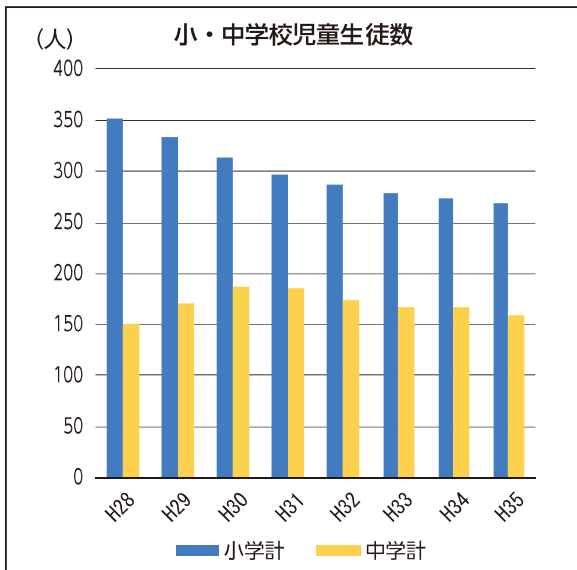
1. 基礎的な知識・技能の習得
2. 自ら課題を求め追究していく力の育成
3. 何事にも主体的に取り組む力の育成
4. 友だちの考えや思いを尊重し、共に力を合わせて問題を解決する力の育成
5. 他人を思いやるやさしさや、素晴らしいものに感動する心などの育成
6. 健康な身体と心を自らが育む態度の育成
7. 故郷を知り、発展のために貢献する心や態度の育成
8. 情報機器、先端技術等に対する興味関心と、それを正しく有効に活用できる基礎的資質や能力の育成
9. グローバル化に向けた、国際社会の中で活躍できる能力や態度の育成
10. 将来の夢や希望を持ち、実現に向けて努力する態度の育成



将来像の実現に向けて

- 交友関係が固定することなく、豊かな人間関係の中で、多様な意見や考えに触れながら、学び生活できる学校
- 情報機器や最先端技術等に触れる教育活動を展開し、興味関心を高めるとともに、探求的、問題解決的な学習が実施できる環境整備
- 障がい別の特別支援学級の設置や、習熟度や理解力の個人差に対応する少人数指導が可能な環境の整備
- 町内全域を学びのフィールドとし、故郷三朝を愛し発展させるための教育活動
- 様々な個性や専門性を有する多くの教員を集団とした職員構成による、教職員の資質、指導力、教師力の向上と、協働・協業の推進
- 義務教育9カ年の教育課程に連続性を持たせ、9カ年で子どもを育てるとともに、地域の教育力を結集し、家庭・地域とともに子どもを育む仕組みが整備された学校
- 災害や不審者等に備えた安全、安心な学校

◎児童生徒の推移



◎小学校統合へのスケジュール (提案)

内容	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度
義務教育の将来像	[Pink bar spanning 29-35 years]										
新小学校立上げ		[Yellow bar]									
新校舎建設		[Blue bar: 基本設計]			[Green bar: 実施設計]	[Yellow bar: 校舎建設]					
			[Pink bar: 場所決定]	[Green bar: 造成設計]	[Yellow bar: 造成工事]						
義務教育学校の研究	[Pink bar spanning 29-35 years]										

三朝町教育委員会の考え方をまとめました。小学校統合は必須課題と考えております。今後、町民の方々のご理解をいただきながら、小学校統合を進めていきたいと考えています。

(三朝町教育委員会事務局 教育総務課 ☎43-3510)